



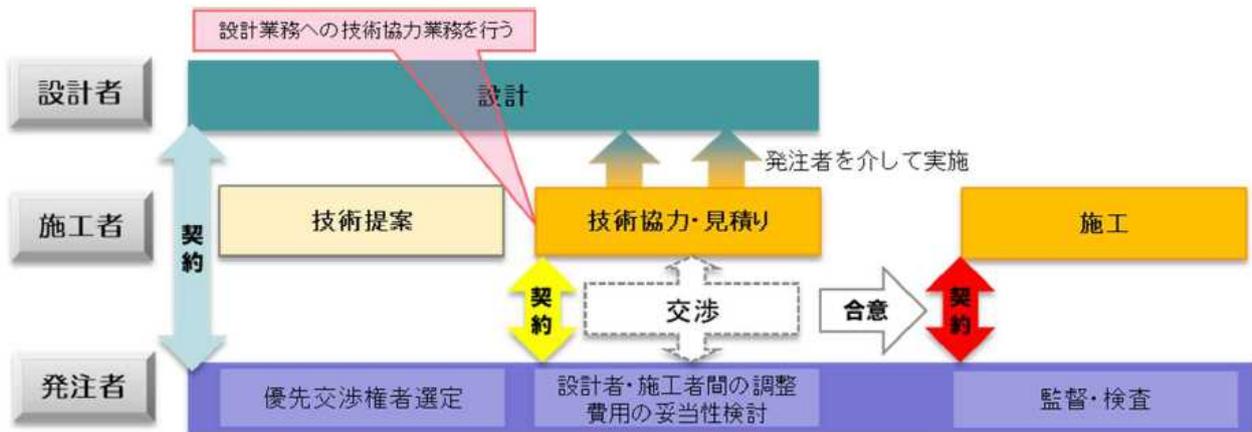
国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所



新潟県内で初めての技術提案・交渉方式による工事発注

～施工者独自のノウハウを設計段階から取り入れ円滑な施工が可能に～

新潟国道事務所では、今後発注を予定している『(仮称)新潟大橋耐震補強工事』において、「技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)」による発注を予定しています。本方式は、設計段階から施工者が関与することで、設計時に詳細仕様の確定が困難な工事に対応する方式です。本方式を採用することで、施工性等の観点から施工者の提案が行われることから、施工段階における設計変更(手戻り等)発生のリスクの減少などが期待できます。



※ 技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)とは？

- ・ 技術提案・交渉方式とは、現場条件等が特殊で当該工事の仕様の確定が困難である場合に技術提案を公募の上、その審査結果を踏まえて選定した者(以下、「優先交渉権者」と)工法、価格等の交渉を行うことにより仕様を確定して契約する方式です。
- ・ この方式のうち技術協力・施工タイプは、優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結します。

お問い合わせ先

■ 契約方式の関係： 国土交通省 北陸地方整備局 企画部 電話 025-280-8880(代表)
技術検査官 金子 靖雪(かねこ やすゆき) (内線3124)

■ 工事の関係： 国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
副所長 青木 崇光(あおき たかひろ) (内線205)

みなみささぐち
新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7763



技術提案・交渉方式の主なメリット

- ① 施工に関する技術(施工法・仮設など)が設計に反映されるため、設計成果の修正等の手戻りが少ない。
- ② 設計段階から施工者が技術提案するため、工法・材料など新技術の導入が促進される。
- ③ 設計と工事発注の手続きが同時に進行できるため、事業全体の工期短縮が可能。

工事及び技術協力業務の内容

新潟大橋は、国道8号新潟バイパスの信濃川に架かる橋です。

信濃川における流水部の耐震補強工事は、出水期などを避けた施工期間となるため、実工期が 年間で約6ヶ月と制約があり、さらに河川の流速が早いなど現場の制約条件が多いため、通常の設計業務では仮締切などの仮設方法の最適な仕様等を確定することが困難となり、工事着手後に大幅な設計変更等が生じ、円滑な施工に支障を及ぼすことが懸念されます。

このことから技術協力・施工タイプを適用し、設計段階から施工者独自のノウハウや工法等の技術協力を得ながら設計を行い、工事着手後の円滑な施工をはかるものです。

◆案件名:新潟大橋耐震補強工事 及び 新潟大橋耐震補強工事にかかる技術協力業務

◆工事場所:新潟県新潟市中央区美咲町地先^{みさきちょう}～西区山田地先^{やまだ}

- ◆内 容:
- ①新潟大橋耐震補強工事にかかる技術協力業務
工 期) 契約締結の翌日から令和2年12月18日まで
内 容) 橋梁耐震補強設計の技術協力、打合せ
 - ②新潟大橋耐震補強その1工事(仮称)
工 期) 令和3年7月頃から令和4年6月頃までを予定
内 容) 下り P5橋脚補強工、仮設工
 - ③新潟大橋耐震補強その2工事(仮称)
工 期) 令和4年8月頃から令和5年6月頃までを予定
内 容) 上り P5橋脚補強工、仮設工

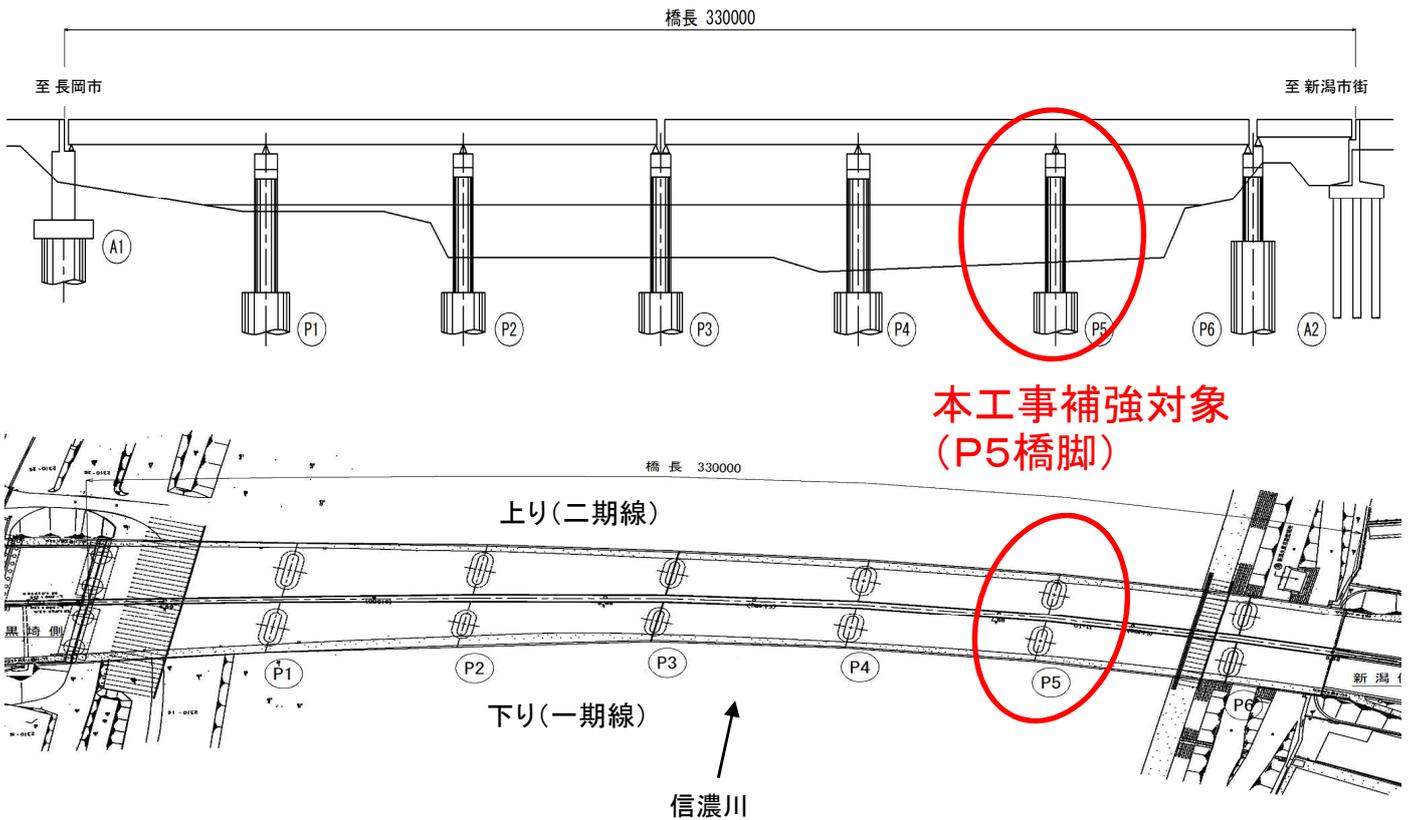
新潟大橋の概要

位置図



新潟大橋

一般図



本工事補強対象
(P5橋脚)

◆ 橋梁諸元

- ・下り(上流側) : S46年10月設計、S48年11月竣工
- ・上り(下流側) : S49年 3月設計、S52年10月竣工